

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔



音楽を楽しむ機会を増やしていきたいーと清水会長

特別賞

釧路音楽協会

④

音楽に親しめる場を

プロの音楽家の演奏を間近で鑑賞したいーという地元の願いを実現するため1966年、医師の高後勉氏が初代会長に就任して発足した同協会は、昨年50周年の節目を迎えた。歴代会長は「プロの音楽家の演奏を間近で鑑賞したいーという地元を提供する活動を重ねて50年を迎えました。特に若い人たちに音楽に触れ、発表する場を設けていきたい」と小中、高生が出演するジュニアコンサートは出演者数アップに力を入れ、これに合わせて、音大に進学してプロを目指す若者など音楽を志す人材を応援する活動にも盛んに取り組んでいる。

医師の中澤悟郎氏、歯科医の久本甫氏、建設会社社長の加納則好氏を経て、清水桜が丘病院の院長、清水輝彦氏が5代目の会長を務める。「高後賞」や「釧路市教育長賞」を設け、コンサートの舞台に立つ楽しさや厳しさを学

「高後賞」や「釧路市教育長賞」を設け、コンサートの舞台に立つ楽しさや厳しさを学

(おわり)